

映画／小津映画ご担当者様 12月27日発売 新刊のご案内



鎌倉の出版社

港の人

ご注文は JRC へ

FAX 03-3294-2177

し えい が  
**私映画**

お づ やす じ ろう しょうわ  
小津安二郎の昭和

くろ だ ひろし  
黒田博 著

ISBN978-4-89629-403-3 C0074 A5 判上製本カバー装／本文 688 頁／定価 3960 円（本体 3600 円＋税）

昭和初期の大不況を描くモダニスト映画監督小津安二郎。やがて「新しき家長」として戦場に向かった彼は、敗戦を境に家長の座を降り、自ら体験した時代の記憶を俳句のような映画に刻み込んだ。

軽みと乾いた抒情をたたえたホームドラマに刻印された、大正モダニズム、愛と性、解体する家族、戦争の記憶……。寺田寅彦、谷崎潤一郎、志賀直哉、六代目菊五郎、山中貞雄らの影響や交流を検証しながら、小津が映画に描き続けたものを通して、昭和という時代のポートレイトを浮き彫りにする渾身の評論。



著者  
黒田 博 くらだ ひろし  
1948 年静岡県生まれ。同志社大学経済学部卒。株式会社ポイント（現アダストリア）代表取締役社長をつとめる。神奈川県鎌倉市在住。著書に『紀子 小津安二郎の戦後』（文藝春秋）

彼の映画はわかろうとする者にはわかる複雑な人の心の深淵を覗くような私映画だった。——本書より

- おもな目次
- 1 戦争まで  
昭和初期  
『出来ごころ』——俺はいゝ氣持でいくんだぜ  
大陸への道
- 2 焼け跡にて  
周吉と紀子  
『晩春』——過ぎにし方の恋しきに  
『麦秋』——悪に強きは善にもと  
『東京物語』——昔の人 今やいずこ  
夢のように……
- 3 繁栄の片隅で  
『彼岸花』——青葉茂れる桜井の  
『小早川家の秋』——水の流れと人の身は  
『秋刀魚の味』——入りつる方も白波の  
旅路の果て

小津映画ファン必読の画期的評論

番線印	ご注文数	<b>私映画</b> 小津安二郎の昭和 黒田博 著 ISBN978-4-89629-403-3 定価 3960 円（本体 3600 円＋税）
ご担当：	様	

\*すべての取次からご注文は可能です（JRC 経由）。返品条件付き注文扱い